

令和2年度事業計画

(令和2年7月1日から令和3年6月30日まで)

(会の目的)

100年先も子どもたちが幸せであることが最大の目的。まず東日本大震災で未だ元の生活に戻れていない福島の子どもたちの応援を続けることで、日本の子どもたちの幸せの一助となることが会の目的である

(事業計画)

1・福島県の子どもたちを応援する

1. 今年度は新型コロナウイルス流行の収束が見通せない中、福島から来る子どもたちの安全を第一に考えて4回目となる予定であった「幼稚園留学」を中止した。収束が見通せ子どもたちの安全が確保できるのなら、来年度は幼稚園留学を実施したい。
その場合は、福島県私立幼稚園認定こども園連合会と連携し、福島県全県を対象にする。
受け入れ幼稚園は調整を図り、受け入れ家族も4家族以上を予定したい。実施に向けて地域、企業などとの連携を強化する。
そのための資金調達方法として、ミンナソラノシタオリジナルグッズを販売し、その収益の一部を寄付として積み立てる（福島こども応援基金）。
2. 郡山市の幼稚園にハンドソープや石鹸を寄贈する。

2・東日本大震災を忘れない啓発活動を行う

1. 福島の現状を知るためのイベントを開催する（1回/年）。
2. 地域の祭りやイベントに出展し、オリジナルグッズ販売とともに会のPR活動を行う（随時）。
3. こどもぼうさいプログラムを完成させ、京都の幼稚園を中心として、出前講座を実施する。
そのために、防災士資格取得者を増やす（現状3名⇒6名）。

3・福島と京都のご縁を紡ぐ

1. 福島へ出張し、現地のお母さん方との交流会を開催する。
2. ミンナソラノシタ福島支部の活動活発化を図る。

4・定例会の開催

上記を達成するために月一回の定例会を開催する。

以上